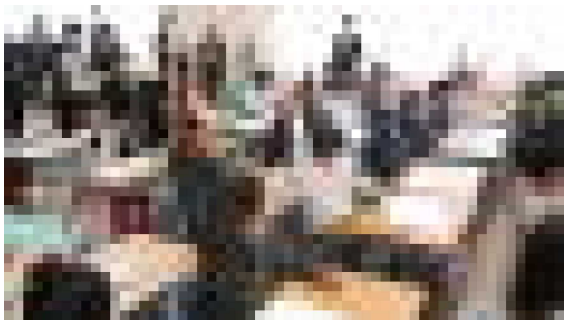
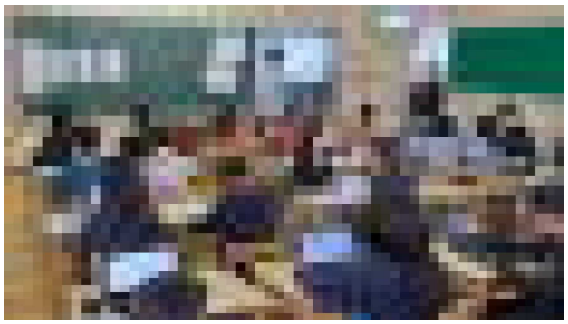
教育実践発表会

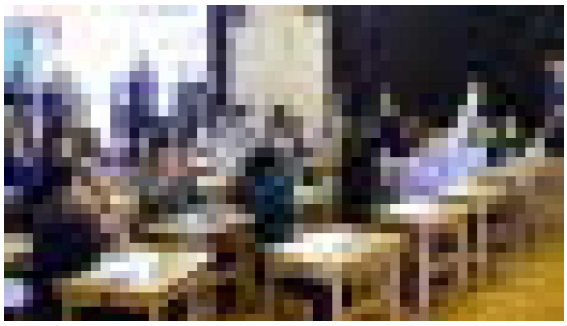


１１月８日、帯広市や十勝管内から多くの先生方をお招きし、本校の研究と実践を公開する教育実践発表会を行いました。

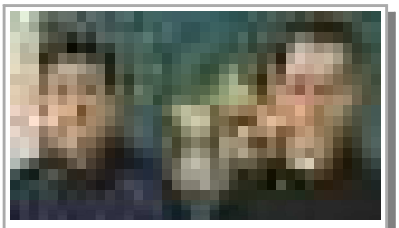
本校では、主題「楽しく学び、考えを深め合う子どもの育成～算数科を中心とした、活動の工夫を通して～」をもとに、昨年度から研究を進めています。この日は、これまでの研究の成果を３学級の授業（２年１組「九九をつくろう　かけ算(2)」、４年２組「四角形の特ちょうを調べよう」、６年２組「円の面積の求め方を考えよう」）の形で公開しました。



この日、帯広市教育委員会の□□□□教育長様、□□□□教育委員様をはじめ多くのご来賓、市内や十勝管内の小中学校から６０名を超える先生方が参加してくださり、授業参観の後の協議など、たくさんの意見を聞かせていただきました。会の成果を児童の学ぶ意欲や学力に結びつけるよう、今年度のあと５ヶ月を職員一同で努力してまいります。

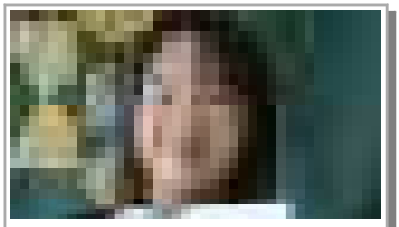


２年 □□□□さん
Japan Ballet Competition
北海道2023
小学校低学年部門　**第５位**

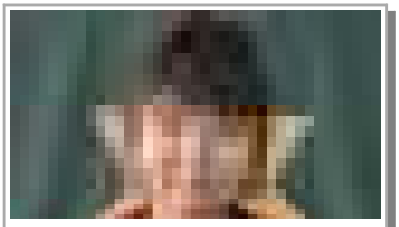


緑丘小学校G-CLUB
帯広市スポーツフェスティバル
ソフトボール大会
第三位

Ｖｏｒｔｅｘ大空
４年 □□□□さん
５年 □□　□さん
財団杯ちびっこアイスホッケー大会 **優勝**



4年 □□□□さん
帯広市スポーツフェスティバル
柔道大会
小学女子３～４年の部 **第三位**



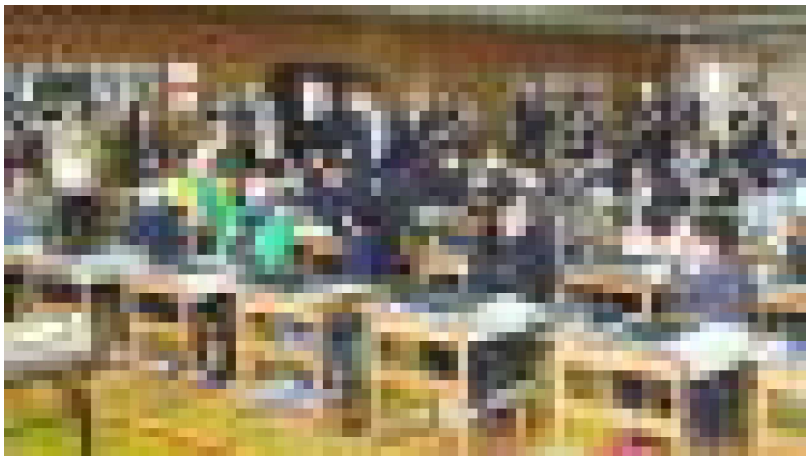
6年 □□□□さん
第28回どうしん
小学生新聞グランプリ
北海道教育委員会教育長賞

3年 □□□□さん
第42回ステップワールドＬＬ
スピーチコンテスト
優秀賞

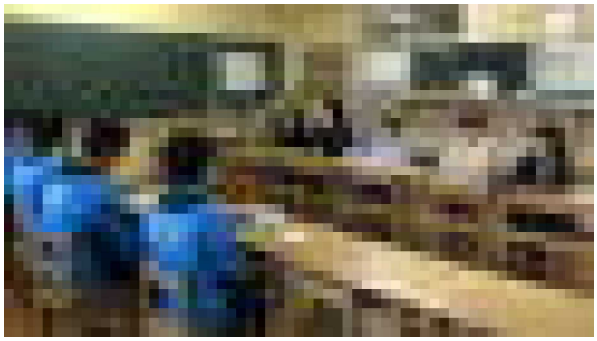
3年 □□□□さん
児童詩誌『サイロ』11月号
入　選

5年 □□□□さん
日本習字全国たなばた競書
金　賞

◇◇校長室から◇◇
「かがやく緑の子」
大会やコンクールの結果を校長室に報告に来てくれた笑顔の写真を、職員室前廊下に掲示しています。学校だよりではご紹介できないこともありますが、まずは校長室に来てみてね。

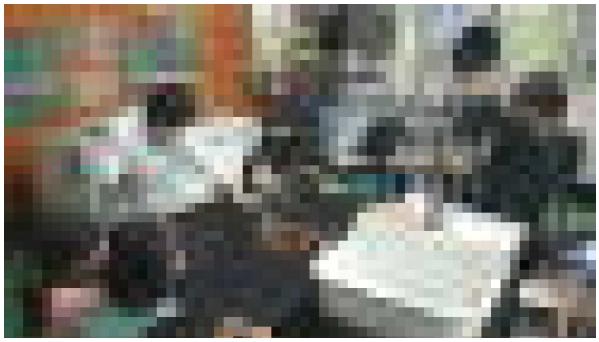


10月27日(金)、第75回北海道書写書道研究大会帯広大会が、本校を主会場として行われました。６年２組の書写の授業を、全道からの200名を超える参加者に参観していただきました。

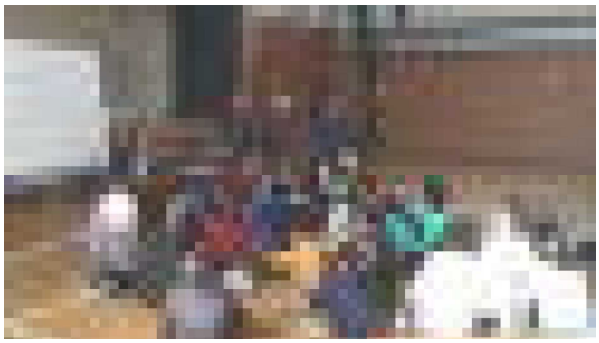


「五中･緑小いじめ対策会議」では、児童会役員が帯広第五中学校生徒会役員の皆さんと、日常の活動やいじめ防止の取組などを交流しました。

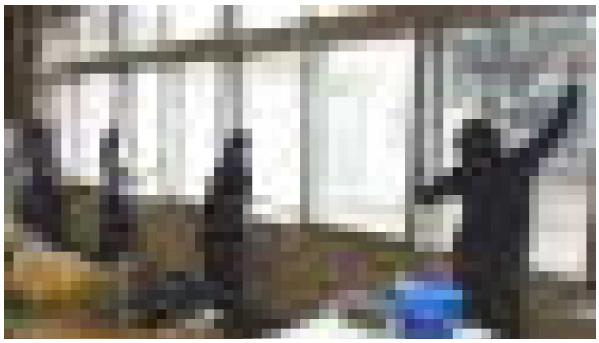
帯広市役所から講師をお招きした、６年生の「租税教室」。税金のない世界の動画は恐ろしかった。一つの社会で人が暮らしていくのに税が必要なことを学びました。



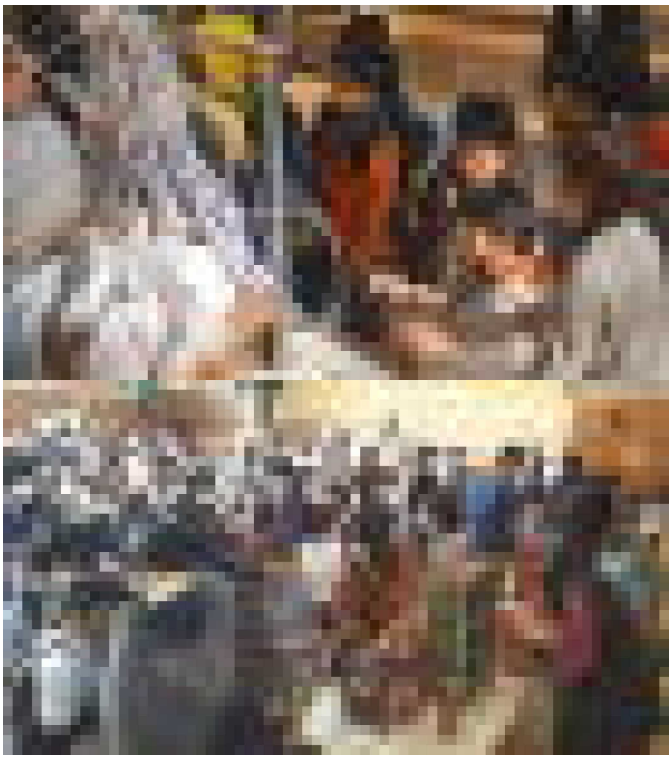
５年生の宿泊学習、児童会館では好天に恵まれ、夜の天体観測でもくっきり見えて楽しかったそうです。学校ではできないような理科実験もたくさんさせていただきましたが、一番の楽しみは友達同士でのお泊まり‥‥だった人もいるかな？



帯広カムイトウウポポ保存会の皆さんに、４年生がアイヌ文化を教えていただきました。「こんにちは」は「イショロレー」、「ありがとうございます」は「イヤイライケレ」、ウポポイやラジオのアイヌ語講座とは違う、帯広地方の言葉だそうです。へー、なるほど



ＰＴＡ秋の環境整備、校内の窓ふきをしていただきました。たくさんの方にご協力いただきガラスがピカピカになったこともうれしいですし、我が子の教室に掲示してある作品に見入るお父さんの姿もいいなぁと思いました。



子どもフェスティバルは、ＰＴＡイベント部の皆さんを中心に、みどりっこクラブ、老人クラブ連合会など多くの方にご支援いただいて実施するイベントです。体育館には２００人を超える児童が集まって行われました。

緑丘ジュニアバンドのステージから始まり、ブースでは「アメすくい」「スリッパとばし」など楽しいゲームがいっぱい。景品もたくさんいただきました。環境整備もそうでしたが、こういった機会に保護者の方や地域の方が和やかにお話ししながら児童を見守る姿、素敵でした。

よりよい緑丘小学校をつくるためのアンケートコメント最終回

表現は少し変えています

●生活委員について。一週間おきとはいえ、一年間に渡り朝早くの挨拶運動と、放課後の掃除とを兼任させることに疑問を持ちます。朝は７時20分に家を出なければならず、放課後に校舎からでてきたのは16時10分という日がありました。たまたまお迎えでしたが、冬の暗い中そこから帰宅すれば16時50分です。連絡ももちろん無く、さすがに心配します。「習い事のある子は免除」ということも日常茶飯事で、当番制であるべき掃除がほぼ毎日続きました。係活動全般ですが不公平の無いようにお願いしたいと思います。

川上より～今年度の生活委員会の主な活動は、次のようになっています。①あいさつ運動～登校時刻の8時10分ごろから児童玄関で、4年生・5年生・6年生が週交替で担当する。②手洗い場そうじ～トイレ横の手洗い場の水気取りを中心に5分程度、1組と2組が週交替で担当する。他の委員会も含め、児童がスムーズに意欲をもって取り組めるように、今後も活動内容などを検討していきます。

●隣のクラスは自由で宿題や自主ノートの強制は無いよとも聞くので、学年で宿題の差はつきすぎかと思います。お友達と遊びたいのに「宿題をしないと先生に怒られる！学校でやらないといけなくなる！」と泣きながら宿題をし、お友達と遊べない子もいます・・・・。いろいろな家庭がある中で、先生は事情を考慮の上、宿題やプリントやテストをいっぱい出すのでしょうか？「□年生には可能性があります！」と言っておられますが、まだ□年生です！親が付きっきりじゃなければできない難しさと量です！「宿題やりたくない！」と言って勉学や宿題を嫌いになっている子もいることをお気づきですか？
●宿題の丸付けを親がするのは良いのですが、国語の文章問題は親の考えで丸付けして良いのか困惑する事があります。

川上より～上のご意見については担任から通信で回答があったようですが、少し補足します。他学年も含め、学校からはプリントまたはスマイルネクストで「宿題」を出すとともに、児童が自分で量と内容を決めて取り組む「自主学習」もおすすめしています。宿題は学年ごとに同じ内容で、学級によってはその日の授業内容の補足や発展が加わることもあるかもしれません。いずれにしても短い時間で取り組めるように考えています。マル付けは、年度当初にお配りした『***家庭学習で学力アップ***』のとおり保護者の方にもご協力いただきたいのですが、時間や内容などにより難しいときもあるかと思います。ご負担のない範囲でご協力ください。

家庭学習等について、本校の全国学力・学習状況調査の結果と併せて次号でもご連絡します。